

令和7年度生成 AI を活用した DX 人材育成研修及び企業伴走支援業務プロポーザル 質問回答

令和7年6月4日
鳥取県商工労働部産業未来創造課

【質問1】

・講座および企業伴走支援にあたり操作体験として生成 AI ツールを導入する場合、その導入費用やランニング費用はどこが負担する想定でしょうか？

【回答1】

・本業務において生成 AI ツールを導入する場合、その導入費用およびランニング費用は、委託料に含まれます。

【質問2】

・講座を受講する企業および企業伴走支援を受ける企業は、

- ①別々の企業
- ②同一の企業
- ③特に問わない

のどちらを想定されていますでしょうか？

【回答2】

・講座を受講した企業が伴走支援を受けることを想定していますが、講座のみ、または伴走支援のみの参加も可能です。

【質問3】

・講座と企業伴走支援の実施スケジュールとしては、講座の開催後に企業伴走支援を実施する想定でしょうか？

【回答3】

・実施スケジュールは、受託者の提案に基づき県と調整の上、決定します。それぞれの実施スケジュールも含めてご提案ください。

【質問4】

・共同企業体での応募は認められていますが、コンソーシアム形式での応募は可能でしょうか？また一部業務の再委託は可能でしょうか？

【回答4】

・コンソーシアム形式の応募については、プロポーザル実施要領「4 参加資格要件(2)共同企業体」の要件を満たす場合に限り可能です。

・業務の一部を再委託することは可能ですが、主要部分を再委託することは認めません。プロポーザル実施要領「6 参加表明及び企画提案書等の提出等(4)企画提案書等の提出」にて記載しているとおり、企画提案書に再委託先およびその内容を明示してください。

【質問5】

(研修・伴走支援に関する募集方法及び企業リストの提供について)

・人材育成研修および企業伴走支援の参加企業の募集について、受託者が営業・広報活動を主体的に行う必要があるのでしょうか？支援対象となり得る企業リストや推薦企業など、事前に県から提供される情報はありますか？

【回答5】

・業務仕様書「4.1 運営管理」に記載のとおり、広報活動および研修参加者・支援対象企業の募集については受託者が主体的に実施してください。なお、県としても、支援対象となり得る企業リストや推薦企業情報等を可能な範囲で提供いたします。

【質問6】

(研修・発表会等の会場提供有無)

・研修や成果発表会の開催にあたり、鳥取県側で使用可能な会場の候補提供や会場手配の支援はありますか？

【回答6】

・研修や成果発表会の会場は受託者が手配してください。

【質問7】

(会場設営等の実務支援(設営・受付等))

・研修および成果発表会当日の設営や受付などの実務作業につきましては、原則として全て受託者が担当するものと認識しておりますが、この理解でよろしいでしょうか。

その上で、もし県側でこれらの作業の一部についてご協力、またはご支援をいただける余地がございましたら、お教えいただけますと幸いです。

【回答7】

・設営や受付等の実務作業については受託者が実施してください。

【質問8】

(企業伴走支援の支援内容・業務領域について)

・企業伴走支援において、受託者が提供する支援内容(例:生成 AI の適用領域、支援手法、成果物の形式など)について、県側であらかじめ定められている(想定している)範囲や制限事項があればご教示ください。

【回答8】

・現時点で県が定めている支援内容の範囲や制限事項はありません。

【質問9】

(特定サービスの紹介可否)

・企業伴走支援の実施にあたり、生成 AI 関連の民間サービス(有料・無料を問わず)を対象企業に紹介することは可能でしょうか？特定のサービスへの誘導とならないよう注意すべき点があれば併せてご教示ください。

【回答9】

・支援対象企業に対して民間サービスを紹介いただいて構いませんが、特定サービスへの誘導と受け取られないよう、複数案を提示するなど、公正性に配慮してください。

【質問10】

(成果発表会の聴衆(誰に向けたものか))

・成果発表会について、開催形式(オンライン・対面)および対象となる参加者(県内企業、行政職員、一般県民等)についての想定があれば教えてください。

【回答10】

・開催形式は対面を基本としつつ、必要に応じてハイブリッド形式等も可能です。対象は県内企業を主たる想定としていますが、県全体における生成 AI 活用の機運醸成のため、広く県民等に関われた形での開催も可能です。

【質問11】

(企画提案書とプレゼンテーション時の資料について)

・企画提案書の提出様式につきまして、ファイル形式は Microsoft Office Word または PowerPoint 等の指定はありますでしょうか。

・企画提案書とプレゼンテーション資料は同一のものを使用しなければならないでしょうか。

【回答11】

・企画提案書はプロポーザル実施要領 6(4)イに記載のとおり、PDF 形式(ファイル内文字検索が可能なこと)で提出してください。プレゼンテーション資料については、企画提案書と同一である必要はありませんが、企画提案書に記載されていない内容をプレゼンテーション資料に記載し、追加提案することはできません。

【質問12】

(取引条件について)

・弊社といたしましては、「DX 人材育成研修」と「企業伴走支援業務」に分けて、それぞれの工程に応じた進捗管理および収益認識を行いたいと考えております。

具体的には、DX 人材育成研修の終了時点において、当該部分の売上を計上することが可能かお伺いするものです。

【回答12】

・本業務は人材育成研修と企業伴走支援を一体的に実施するものであり、そのため、業務期間中の部分的な納品や部分的な精算払は認められません。なお、概算払を希望される場合は、契約締結前に受託者からの申し出に基づき、協議を行うことは可能です。

【質問13】

(研修資料について)

・貴地での研修の際、参加者様用の資料は講師側で印刷・準備する必要がありますでしょうか。

【回答13】

・参加者用の資料の印刷・準備は受託者にてご対応ください。

【質問14】

(研修開始時期について)

・研修参加者の募集期間及び研修開始時期について、教えていただけますでしょうか。

【回答14】

・研修スケジュールは、受託者の提案に基づき県と調整のうえ決定します。募集期間等もあわせてご提案ください。

【質問15】

(研修の開催日程について)

・各研修の開催日程につきまして、講師側よりご提案させていただくことは可能でしょうか。

・「中核人材向け講座」と「管理職・経営層向け講座」を同日に連続して開催させていただきたいと考えております。

【回答15】

・研修スケジュールは、受託者の提案に基づき県と調整のうえ決定します。各研修の開催日程等もあわせてご提案ください。

【質問16】

(伴走型支援の支援対象企業数について)

・伴走支援の支援対象企業数につきまして、4社以上と認識はしておりますが上限を設けてご提案することは可能でしょうか。

【回答16】

・上限を設定したご提案は可能です。

【質問17】

(運営管理について)

・受講者や伴走支援企業に対する効果的な周知・募集、問合せ対応、フォローアップ等の手法が示されているか、とありますが、受託した場合には当該業務の周知・募集・受付・そのことに係る問合せも受託者の業務範囲に含まれるのでしょうか。

【回答17】

・業務仕様書「4.1 運営管理」に記載のとおり、広報活動の実施および研修参加者・支援対象企業の募集、それらに対するフォローアップについては、受託者の業務範囲に含まれます。

【質問18】

(契約保証金について)

・弊社は、入札参加資格者名簿等情報に記載しましたとおり過去2年間において国立研究開発法人科学技術振興機構を相手方として業務を受託していることから、免除の対象になると認識しておりますがいかがでしょうか。

【回答18】

・契約保証金の取扱いについては、契約締結時に鳥取県会計規則第112条第4項の規定に基づき、個別に確認・判断いたします。

【質問19】

・伴走支援の対象企業は、人材育成研修（中核人材向け講座または管理職・経営層向け講座）にご参加いただいた企業の中から選定する形でもよろしいでしょうか？ それとも、研修参加の有無にかかわらず、別途広く募集・選定する必要があるのでしょうか？ また研修参加企業から選定する場合、その選定方法は決まっておりますでしょうか？

【回答19】

・講座を受講した企業が伴走支援を受けることを想定していますが、講座のみ、または伴走支援のみの参加も可能です。選定方法については、受託者と調整の上、決定します。

【質問20】

・研修会場について、貴県が保有する施設を利用できる可能性はございますか？

【回答20】

・研修会場は、受託者が手配してください。

【質問21】

・講座時間の「計 10 時間以上」は、中核人材向け講座と管理職・経営層向け講座のそれぞれで 10 時間以上という理解でよろしいでしょうか。

【回答21】

・お見込みのとおりです。

【質問22】

・成果発表会の開催時期、場所、形式（オンライン併用など）、想定規模（参加者数など）について、現時点での貴県のイメージがございましたらご教示ください。

【回答22】

・開催形式は対面を基本としつつ、必要に応じてハイブリッド形式等も可能です。対象は県内企業を主たる想定としていますが、県全体における生成 AI 活用の機運醸成のため、広く県民等にかかれた形での開催も可能です。

【質問23】

・対象企業・参加者の選定および募集に関する事項 本事業における研修受講者（中核人材・管理職）および伴走支援企業の募集・選定は、県が行う予定でしょうか？それとも受託者主導で行う形式でしょうか？

【回答23】

・業務仕様書「4.1 運営管理」に記載のとおり、受託者が実施してください。

【質問24】

・対象企業・参加者の選定および募集に関する事項 伴走支援企業の対象として、県として特に支援を優先したい業種・地域・企業規模等の方針があればご教示ください。

【回答24】

・伴走支援は特定の業種に偏ることなく、県内の多様な企業を対象とする方針です。

【質問25】

・対象企業・参加者の選定および募集に関する事項募集にあたり、県が協力・活用を想定している広報チャンネルや既存ネットワーク等があれば教えてください。

【回答25】

・対象企業・参加者の募集について、県公式サイトに掲載する手法で周知協力することは可能です。そのほかの周知の手法については、ご提案ください。

【質問26】

・研修プログラムに関する事項 研修の実施方法について、対面・オンライン・ハイブリッド形式の併用が可能とのことですが、原則対面で実施すべき内容の範囲があればご提示ください。

【回答26】

・原則として対面で実施すべき内容について、県からの指定はありません。内容や目的に応じた効果的な実施方法をご提案ください。

【質問27】

・成果物・評価に関する事項 成果発表会について、開催形式（対面／オンライン／動画形式等）・発表対象（県内企業・メディア等）・規模感についてお考えがあればご教示ください。

【回答27】

・成果発表会は対面開催を基本としつつ、必要に応じてハイブリッド形式等も可能です。発表対象は県内企業を主たる想定としていますが、県全体での生成 AI 活用の機運醸成を目的とし、広く県民等にかかれた形での開催も可能です。

【質問28】

・成果物・評価に関する事項 発表企業の選定や発表内容に関して、県がどの程度関与・確認されるかも併せてお聞かせください。

【回答28】

・伴走支援の成果は、県内企業への波及効果を高める先進モデル事例として発信することを目的としています。成果発表会の企業選定や発表内容については、事業目的に照らし、受託者の提案に基づき県と調整の上、決定します。

【質問29】

・県の DX 推進状況と期待に関する事項 本業務において、貴県が伴走支援を通じて最も期待する成果は何でしょうか？

【回答29】

・仕様書「3. 業務の目的」に記載のとおり、本業務では生成 AI の適正かつ戦略的な活用を通じ、業務効率化・生産性向上・付加価値の創出を図ることを期待しています。成果発表会を通じて優良事例を広く

共有・発信することにより、県内全体での生成 AI 活用の機運を醸成し、産業 DX の加速につなげることを目指しています。

【質問30】

・仕様書:4.3 企業伴走支援 支援対象企業は 4.2 人材育成研修の受講企業の中から、希望者を募集して支援を行う流れでしょうか。もしくは、4.2 人材育成研修を受講していない企業でも、支援対象になり得ますか。後者の場合、企画提案の時点で具体的な支援候補先を企画書に明示する必要がありますか。

【回答30】

・講座を受講した企業が伴走支援を受けることを想定していますが、講座のみ、または伴走支援のみの参加も可能です。なお、企画提案書において具体的な支援候補先の提示は必須ではありません。

【質問31】

・仕様書:4.3 企業伴走支援 支援対象企業数:4 社以上とありますが、最大社数の制限はありますか。

【回答31】

・支援対象企業数について、上限は設けていません。

【質問32】

・仕様書:4.3 企業伴走支援 支援対象希望企業が想定より多かった場合を想定し、選定基準等も提案に盛り込んだ方が良いでしょうか。

【回答32】

・選定基準等を提案書に盛り込むことは必須ではありません。

【質問33】

02 実施要領

・6 参加表明及び企画提案書等の提出等 (4)企画提案書等の提出 支援対象企業への支援回数や支援期間の明記が必要という点について。目安回数や期間はございますでしょうか。

・(エ)法人の概要(様式任意)の必要部数と提出方法(紙 or 電子データ)についてご教授願います。

【回答33】

・支援回数や期間について、県として目安の提示は行っておりません。1 社あたりの支援回数や支援期間の平均等については、ご提案ください。

・また、法人の概要は電子データをご提出ください。

【質問34】

04 審査要領 審査項目及び評価基準

・1 事業の実施方法(配点 80 点満点)に 7 項目ございますが、各項目の配点は開示可能でしょうか。

・見積価格・県内企業(配点 10 点満点)内の(2)鳥取県内に事業所(本店、支店等)を有しているか。については、再委託先が本店、支店等を有している場合にも評価対象になりますでしょうか。

【回答34】

・7 項目それぞれの配点については非公開です。

・また、「鳥取県内に事業所を有しているか」の評価は、再委託先ではなく、提案者(受託者)自身が県内に事業所を有しているかどうかによって行われます。

【質問35】

03 仕様書

・4.2 人材育成研修

・実施スケジュール: 県内会場にて、3 か月以内に計 10 時間以上の講座を開催について、開始タイミングのご希望や目安時期がございましたら、ご教授願います。

・4.3 企業伴走支援

・伴走支援の対象企業について: 選定基準やプロセスにご希望ございましたら、ご教授願います。

・成果発表会: 伴走支援の成果を DX 推進モデルとして発表について、実施方法の指定があればご教授願います。

【回答35】

・実施スケジュールは、受託者の提案に基づき県と調整の上、決定します。研修および伴走支援の実施スケジュール、企業選定の基準・プロセス、成果発表会の開催方法等については、ご提案ください。

【質問36】

その他 実施内容について

・研修で活用する生成 AI の指定はございますでしょうか。

成果目標について

・「生産性向上及び付加価値向上を実現する DX 推進モデルを創出すること」が目的とされていますが、これらの「生産性向上」や「付加価値向上」について、具体的な数値目標や評価指標の設定はございますでしょうか。

【回答36】

・研修で使用する生成 AI ツールの指定はありません。

・また、「生産性向上」や「付加価値向上」に関する具体的な数値目標や評価指標は、県として設定していません。